

旧石器時代の成果

天神段遺跡では、^{れきぐん}礫群6基とともに、^{さいせきじん}細石刃石器群、小型台形石器、小型ナイフ形石器のブロックが検出されました。^{へんせいふう}偏西風の影響で、桜島より東側にある地域では各期の火山灰が堆積しており、^{こんせき}層位的に生活痕跡の違いがみられます。

山口遺跡では、^{れきぐん}礫群5基に伴って^{さいせきじん}細石刃文化期のブロックが13基検出されました。使われている石材は、16 km離れた薩摩川内市樋脇町の上牛鼻^{かみうしばな}産の^{こくようせき}黒曜石が多くみられます。また、落とし穴5基もみつかっています。

堀之内遺跡でもブロック5基が検出され、^{かくすい}角錐状石器、ナイフ形石器、^{さいせきじん}細石刃核などが出土しました。

